

よくある動作障害例と確認方法(ドアミラー格納装置)

装置タイプ : TYPE-A

障害例: 装着後、自動格納・自動展開がしない(車両側の格納スイッチでは動作する)

障害例: 作動したり、しなかったり不安定

確認1. 各配線の接触不良がないか再度ご確認ください。

特にエレクトロタップで結線している配線は接触不良となる場合が多いのでご注意願います。

※作動しない原因の9割以上が配線の接触不良です。

確認2. ACCオフでACC線(赤)電圧が0Vとなっていることをご確認ください。

この配線に12Vが入力されている間は強制展開モードとなり、自動格納はキャンセルされます。

確認3. ボディーアース線(黒)をドア金属部に接続していないかご確認ください。

ドア金属部はアースされていませんので、適切なバッテリーマイナス線または、ドア以外の車体金属部に接続してください。

確認4. 装着時に周辺コネクタを外した場合、コネクタの半挿入が無いかご確認ください。

確認5. DSW+とDSW-配線、DMT+とDMT-配線が逆になっていないかご確認ください。

逆に接続されている場合、格納すべきタイミングで展開する動作となってしまいますので、見かけ上全く動作しない状況となります。

これを確認するには、一旦車両側の格納スイッチを操作してミラーを格納させ、その後、自動格納させる動作(ドアロック等)を実施ください。

格納していたミラーが自動展開する場合は逆配線となっています。

確認6. アンロック時に一瞬12Vとなる配線に、常時12Vが入力されていないかご確認ください。

アンロック時に一瞬12Vとなる配線に常時12Vが入力されている状態ですと、ドアロック操作時にアンロック操作が実施されたと判断され、

展開動作となってしまいます。結果的にドアロック操作でミラーが格納されない状況となります。

障害例: 走行中のドアロックでミラーが格納されてしまう

確認1. 走行中(エンジン作動時)、本装置のACC線(赤)に正常に12Vが入力されているかご確認ください。

この配線に12Vが入力されている間は強制展開モードとなり、自動格納はキャンセルされます。

障害例: 装着当初は正常動作していたが、最近たまに動かないときがある。

確認1. 各配線の接触不良がないか再度ご確認ください。

特にエレクトロタップで結線している配線は時間がたつとともに、接触表面が酸化して接触不良となる可能性があります。

ギボシ端子等を使用して確実に接続してください。

障害例: ドアロック後に自動格納されるが、しばらくすると勝手に展開されてしまう。

確認1. ACCオフ後のDSW-配線に12Vが入力されていないかご確認ください。

ACCオフ後も一定時間のあいだ、電源が切れない車両もあります。そのような車両の場合、TYPE-Eの装着は出来ませんので、

TYPE-A/C/Dのいずれかを装着ください。

確認2. アンロック時に一瞬12Vとなる配線に、常時12Vが入力されていないかご確認ください。

アンロック時に一瞬12Vとなる配線に常時12Vが入力されている状態ですと、ドアロックによる自動格納後に、ただちにアンロック操作が実施

されたと判断してしまい、展開動作となってしまいます。

障害例: エンジン始動時にミラー展開途中で停止してしまう。

確認1. 障害ではありません。TYPE-A/C/Dはセルモータ始動時による電圧降下対策として

再展開モードが搭載されていますが、電圧降下状況によって稀に再展開モードに移行できない場合があります。

装置交換によって改善される場合がございますので相談願います。

障害例: 車両側の格納スイッチも利かず、自動格納もされない。

確認1. 車両側のヒューズが切れた可能性があります(各配線の接触不良が無い前提)。

車両整備マニュアルを参照して関連するヒューズをご確認ください。ヒューズが切れていた場合、装置の結線場所に間違いがあると思われます。

結線場所をご確認ください。また、装置自体も損傷している可能性があります。再結線後も動作異常となる場合は相談願います。

確認2. DSW+、DSW-、DMT+、DMT-配線の接続部での接触不良がないか再度ご確認ください。

特にエレクトロタップで結線している配線は接触不良となる場合が多いのでご注意願います。

装置タイプ : TYPE-C

障害例： 装着後、自動格納・自動展開がしない(車両側の格納スイッチでは動作する)

障害例： 作動したり、しなかったり不安定

確認1. 各配線の接触不良がないか再度ご確認ください。

特にエレクトロタップで結線している配線は接触不良となる場合が多いのでご注意ください。

※作動しない原因の9割以上が配線の接触不良です。

確認2. ボディーアース線(黒)をドア金属部に接続していないかご確認ください。

ドア金属部はアースされていませんので、適切なバッテリーマイナス線に接続してください。

確認3. 装着時に周辺コネクタを外した場合、コネクタの半挿入が無いかご確認ください。

確認4. DSW+とDSW-配線、DMT+とDMT-配線が逆になっていないかご確認ください。

逆に接続されている場合、格納すべきタイミングで展開する動作となってしまいますので、見かけ上全く動作しない状況となります。

これを確認するには、一旦車両側の格納スイッチを操作してミラーを格納させ、その後、自動格納させる動作(ドアロック等)を実施ください。

格納していたミラーが自動展開する場合は逆配線となっています。

障害例： 走行中のドアロックでミラーが格納されてしまう

確認1. 本装置のACC線(赤)に正常に12Vが入力されているかご確認ください。

この配線に12Vが入力されている間は強制展開モードとなり、自動格納はキャンセルされます。

障害例： 装着当初は正常動作していたが、最近たまに動かないときがある。

確認1. 各配線の接触不良がないか再度ご確認ください。

特にエレクトロタップで結線している配線は時間がたつとともに、接触表面が酸化して接触不良となる

可能性があります。ギボシ端子等を使用して確実に接続してください。

障害例： ドアロック後に自動格納されるが、しばらくすると勝手に展開されてしまう。

確認1. ACCオフ後のDSW-配線に12Vが入力されていないかご確認ください。

ACCオフ後も一定時間のあいだ、電源が切れない車両もあります。その様な車両の場合、

TYPE-Eの装着は出来ませんので、TYPE-A/C/Dのいずれかを装着ください。

障害例： エンジン始動時にミラー展開途中で停止してしまう。

確認1. 障害ではありません。TYPE-A/C/Dはセルモータ始動時による電圧降下対策として

再展開モードが搭載されていますが、電圧降下状況によって稀に再展開モードに移行できない

場合があります。装置交換によって改善される場合がございますので相談願います。

障害例： 車両側の格納スイッチも利かず、自動格納もされない。

確認1. 車両側のヒューズが切れた可能性があります(各配線の接触不良が無い前提)。

車両整備マニュアルを参照して関連するヒューズをご確認ください。ヒューズが切れていた場合、

装置の結線場所に間違いがあると思われます。結線場所をご確認ください。

また、装置自体も損傷している可能性があります。再結線後も動作異常となる場合は相談願います。

確認2. DSW+、DSW-、DMT+、DMT-配線の接続部での接触不良がないか再度ご確認ください。

特にエレクトロタップで結線している配線は接触不良となる場合が多いのでご注意ください。

障害例： 意図しないタイミングで一瞬格納動作となり、すぐに展開動作となる。

確認1. 格納装置のACC線(赤)の接触不良をご確認ください。

接触不良により一瞬、電圧が低下し、ACCオフと判定され格納動作を開始している可能性があります。

確認2. 格納装置のACC線(赤)の接続場所を変更してください。

結線先のACC電源線の電圧が不安定で、ACCオフと判定され格納動作を開始している可能性があります。

別なACC電源線へ接続変更してお試しください。

装置タイプ：TYPE-D

障害例：装着後、自動格納・自動展開がしない(車両側の格納スイッチでは動作する)

障害例：作動したり、しなかったり不安定

- 確認1. 各配線の接触不良がないか再度ご確認ください。
特にエレクトロタップで結線している配線は接触不良となる場合が多いのでご注意ください。
※作動しない原因の9割以上が配線の接触不良です。
- 確認2. ACCオフでACC線(赤)電圧が0Vとなっていることをご確認ください。
この配線に12Vが入力されている間は強制展開モードとなり、自動格納はキャンセルされます。
- 確認3. ボディーアース線(黒)をドア金属部に接続していないかご確認ください。
ドア金属部はアースされていませんので、適切なバッテリーマイナス線に接続してください。
- 確認4. 装着時に周辺コネクタを外した場合、コネクタの半挿入が無いかご確認ください。
- 確認5. DSW+とDSW-配線、DMT+とDMT-配線が逆になっていないかご確認ください。
逆に接続されている場合、格納すべきタイミングで展開する動作となってしまいますので、見かけ上全く動作しない状況となります。これを確認するには、一旦車両側の格納スイッチを操作してミラーを格納させ、その後、自動格納させる動作(ACCオフ等)を実施ください。格納していたミラーが自動展開する場合は逆配線となっています。

障害例：装着当初は正常動作していたが、最近たまに動かないときがある。

- 確認1. 各配線の接触不良がないか再度ご確認ください。
特にエレクトロタップで結線している配線は時間がたつとともに、接触表面が酸化して接触不良となる可能性があります。ギボシ端子等を使用して確実に接続してください。

障害例：エンジン始動時にミラー展開途中で停止してしまう。

- 確認1. 障害ではありません。TYPE-A/C/Dはセルモータ始動時による電圧降下対策として再展開モードが搭載されていますが、電圧降下状況によって稀に再展開モードに移行できない場合があります。装置交換によって改善される場合がございますので相談願います。

障害例：車両側の格納スイッチも利かず、自動格納もされない。

- 確認1. 車両側のヒューズが切れた可能性があります(各配線の接触不良が無い前提)。
車両整備マニュアルを参照して関連するヒューズをご確認ください。ヒューズが切れていた場合、装置の結線場所に間違いがあると思われます。結線場所をご確認ください。
また、装置自体も損傷している可能性があります。再結線後も動作異常となる場合は相談願います。
- 確認2. DSW+、DSW-、DMT+、DMT-配線の接続部での接触不良がないか再度ご確認ください。
特にエレクトロタップで結線している配線は接触不良となる場合が多いのでご注意ください。

障害例：意図しないタイミングで一瞬格納動作となり、すぐに展開動作となる。

- 確認1. 格納装置のACC線(赤)の接触不良をご確認ください。
接触不良により一瞬、電圧が低下し、ACCオフと判定され格納動作を開始している可能性があります。
- 確認2. 格納装置のACC線(赤)の接続場所を変更してください。
結線先のACC電源線の電圧が不安定で、ACCオフと判定され格納動作を開始している可能性があります。
別なACC電源線へ接続変更してお試しください。

装置タイプ : TYPE-E

障害例： 装着後、自動格納・自動展開がしない(車両側の格納スイッチでは動作する)
障害例： 作動したり、しなかったり不安定

- 確認1. 各配線の接触不良がないか再度ご確認ください。
特にエレクトロタップで結線している配線は接触不良となる場合が多いのでご注意ください。
※作動しない原因の9割以上が配線の接触不良です。
- 確認2. ACCオフでACC線(赤)電圧が0Vとなっていることをご確認ください。
この配線に12Vが入力されている間は強制展開モードとなり、自動格納はキャンセルされます。
- 確認3. ボディーアース線(黒)をドア金属部に接続していないかご確認ください。
ドア金属部はアースされていませんので、適切なバッテリーマイナス線に接続してください。
- 確認4. 装着時に周辺コネクタを外した場合、コネクタの半挿入が無いかご確認ください。
- 確認5. DSW+とDSW-配線、DMT+とDMT-配線が逆になっていないかご確認ください。
逆に接続されている場合、格納すべきタイミングで展開する動作となってしまいますので、見かけ上全く動作しない状況となります。これを確認するには、一旦車両側の格納スイッチを操作してミラーを格納させ、その後、自動格納させる動作(ドアロック等)を実施ください。格納していたミラーが自動展開する場合は逆配線となっています。

障害例： 走行中のドアロックでミラーが格納されてしまう

- 確認1. 本装置のACC線(赤)に正常に12Vが入力されているかご確認ください。
この配線に12Vが入力されている間は強制展開モードとなり、自動格納はキャンセルされます。

障害例： 装着当初は正常動作していたが、最近たまに動かないときがある。

- 確認1. 各配線の接触不良がないか再度ご確認ください。
特にエレクトロタップで結線している配線は時間がたつとともに、接触表面が酸化して接触不良となる可能性があります。ギボシ端子等を使用して確実に接続してください。

障害例： ドアロック後に自動格納されるが、しばらくすると勝手に展開されてしまう。

- 確認1. ACCオフ後のDSW-配線に12Vが入力されていないかご確認ください。
ACCオフ後も一定時間のあいだ、電源が切れない車両もあります。その様な車両の場合、TYPE-Eの装着は出来ませんので、TYPE-A/C/Dのいずれかを装着ください。

障害例： エンジン始動時にミラー展開途中で停止してしまう。

- 確認1. 障害ではありません。TYPE-Eは展開側の制御をしておりませんので車両側の問題です。
TYPE-Eの装着は出来ませんので、TYPE-A/C/Dのいずれかを装着ください。

障害例： 車両側の格納スイッチも利かず、自動格納もされない。

- 確認1. 車両側のヒューズが切れた可能性があります(各配線の接触不良が無い前提)。
車両整備マニュアルを参照して関連するヒューズをご確認ください。ヒューズが切れていた場合、装置の結線場所に間違いがあると思われます。結線場所をご確認ください。
また、装置自体も損傷している可能性があります。再結線後も動作異常となる場合は相談願います。
- 確認2. DSW+、DSW-、DMT+、DMT-配線の接続部での接触不良がないか再度ご確認ください。
特にエレクトロタップで結線している配線は接触不良となる場合が多いのでご注意ください。

障害例： 意図しないタイミングで一瞬格納動作となり、すぐに展開動作となる。(ACC連動モードのとき)

- 確認1. 格納装置のACC線(赤)の接触不良をご確認ください。
接触不良により一瞬、電圧が低下し、ACCオフと判定され格納動作を開始している可能性があります。
- 確認2. 格納装置のACC線(赤)の接続場所を変更してください。
結線先のACC電源線の電圧が不安定で、ACCオフと判定され格納動作を開始している可能性があります。
別なACC電源線へ接続変更してお試しください。